

令和5年度

学校評価結果



岩見沢市立日の出小学校

令和6年3月

校名の由来・校章に込められた思い

中央の円形の部分は校名「日の出」を象徴し、左右の若葉とともに「若い力」「明朗」「健康」で未来に向かって強くたくましく成長発達し、5枚の桜花は仲良く協力し合い、「知・情・意・体」の調和と統一のある人間形成を志向する。

校訓

「強く たくましく」

教育目標

知：自主的に思考を高め創造する子どもの育成
徳：責任を重んじ仲良く協力する子どもの育成
体：健康明朗で強い意志力を持つ子どもの育成

めざす学校の姿（日の出・明成小中一貫教育に向けて）

「学び続ける学校」→「新しい時代に対応できる力」と「豊かな人間性・健やかな体」を育む学校
「社会とつながる学校」→未来を見据えて、地域とつながり、誰もが成長を実感できる学校

めざす児童の姿（日の出小・明成中で統一）

- 『 知 』○挑戦する児童
・失敗を恐れずチャレンジし、自ら学び続ける児童
- 『 徳 』○協働する児童
・個性の違いを受け入れ、支え合い、コミュニケーションを楽しめる児童
- 『 体 』○貢献する児童
・学級、学年、学校、地域など誰かのために行動できる児童

（令和5年度計画会議にて確認）

学校運営のスローガン 『 同じ山に登る 』

新しい時代に対応できる力の育成

豊かな人間性・健やかな体の育成

信頼される学校づくり

令和5年度学校経営方針 「自立貢献」

重点 「日常授業の改善」と「受容と調和の集団づくり」

子どもたちとの合い言葉「ありがとう」と「笑顔」あふれる日の出小学校

《 令和9年度までの中期達成目標 》（毎年確認）

知・徳・体バランスのとれた教育活動～各教科で培った力の往還により育む力

めざす学校像、めざす生徒像

★それぞれ5段階の4以上
★児童や教職員の姿で評価

全国学力学習状況調査、NRT

★全国・岩見沢の平均以上

全国体力・運動能力、運動習慣調査

★全国平均以上

学校評価 及び 各種アンケート調査

★肯定的な意見で80%以上

○ 標準学力検査NRT 偏差値平均

【国語】

	R5	R4	R3	R2	R1
2年	44.4	50.5	48.8	45.2	53
3年	50.4	49.8	49.3	48.6	47.9
4年	48.6	51.1	53	44.8	48
5年	48.7	51.9	47.4	46.2	52.5
6年	51.8	46	47.7	51.3	51.4
全校	48.8	49.9	49.2		

【算数】

	R5	R4	R3	R2	R1
2年	44.0	49.9	48.9	46.8	52
3年	48.6	48	49.4	48.8	46.1
4年	48.8	50.6	54	42.3	44.2
5年	48.8	52.3	43.8	43.8	51.4
6年	50.8	43.5	44.8	47.2	49.1
全校	47.3	48.9	48.2		

○ Hyper-QU

	学級の様子	学級満足群の割合		
		全国	学級	全国比
		(%)	(%)	(%)
4年1組	親和的なまとまりのある学級集団	43	81	188%
4年2組	親和的なまとまりのある学級集団		74	172%
5年1組	親和的なまとまりのある学級集団		63	147%
5年2組	ゆるみのみられる学級集団		58	135%
6年1組	親和的なまとまりのある学級集団		79	184%
6年2組	親和的なまとまりのある学級集団		71	165%
全 校			71	165%

○ 新体力テスト結果(全国比%)

	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横跳び	20mシャ トルラン	50m走	立ち 幅跳び	ソフトボール 投げ	全種目 平均
1年男子	93	98	100	100	58	94	88	79	89
2年男子	90	110	90	108	99	97	98	113	101
3年男子	105	94	107	105	73	98	97	103	98
4年男子	95	106	94	105	77	97	95	93	95
5年男子	101	105	102	103	112	98	97	95	102
6年男子	88	97	127	103	86	99	94	93	98
1年女子	97	93	97	102	71	96	92	95	93
2年女子	95	108	98	103	81	98	95	106	98
3年女子	101	99	114	106	80	100	103	117	103
4年女子	90	89	95	96	59	92	91	107	90
5年女子	96	103	97	100	102	96	95	106	99
6年女子	97	100	120	106	88	100	97	123	104

5ポイント以上上回っているもの⇒太字

令和5年度学校評価総括

学校評価の視点	評価材料・項目	目標値	結果	達成度
【日常授業の改善】	○児童アンケート			
	・授業で「できた!」「わかった!」を感じている。	90	98.5	○
	○授業アンケート			
	・授業の内容がわかりやすい。	80	98	◎
	○保護者アンケート			
	・子どもたちが「できた!」「わかった!」と実感できる授業を行っている。	80	100	◎
	○標準学力検査NRT偏差値平均			
	・国語	50	48.8	
	・算数	50	47.3	
【受容と調和の集団づくり】	○児童アンケート			
	・安心して学校生活を送っている。	90	97.3	○
	○保護者アンケート			
	・安心して学校生活を送ることができるよう努めている。	80	92.1	◎
	○いじめアンケート			
	・友だちに相談することができる。	80	52	△
	○Hyper-QU			
	・学校生活満足群の割合	50	63.2	◎
【社会とつながる学校づくり】	○児童アンケート			
	・学校であったことを家の人によく話す。	90	93.4	
	○保護者アンケート			
	・地域の願いや信頼にこたえるため、連携に努めている。	80	91	◎
	○教職員アンケート			
	・幼、中、高との連携に努めている。	80	77.8	△

目標値より5ポイント高いものを○
10ポイント高いものを◎
5ポイント以上低いものを△

令和5年度 後期 日の出小学校 学校評価アンケート結果

【児童アンケート】 ()は前期の数値

	質問項目	十分 あてはまる	ほぼ あてはまる	あまり あてはまらない	ほとんど あてはまらない	
質問 1	あなたは、授業で「できた！」 「わかった！」を感じていますか。	72.9% (78.1%)	24.8% (20.4%)	2.3% (0.7%)	0% (0.7%)	 ▲0.9
質問 2	あなたは、よりよく学ぶために タブレットを役立てていますか。	84.4% (86.2%)	15.6% (17.5%)	0% (1.9%)	0% (0.4%)	 2.3
質問 3	あなたは、友達と認め合って、 安心して学校生活を送っていますか。	81.3% (80.2%)	16.0% (17.5%)	2.3% (1.9%)	0.4% (0.4%)	 ▲0.4
質問 4	あなたは、いろいろな学年の友 達やたくさんの先生との交流を 通して、よりよい学校生活を送 っていますか。	72.1% (77.3%)	22.5% (20.8%)	5.3% (1.9%)	0% (0%)	 ▲3.4
質問 5	あなたは、学校生活についてお 家の人と話をしていますか？	53.8% (58.7%)	25.6% (26.8%)	16.4% (8.9%)	4.2% (5.6%)	 ▲6.1

【保護者アンケート】 回収率62.2% (80.4%) ()は前期の数値

	質問項目	十分 あてはまる	ほぼ あてはまる	あまり あてはまらない	ほとんど あてはまらない	
質問 1	日の出小は、子どもたちが意欲的に学び、「できた!」「わかった!」を実感できる授業を行っている。	24.7% (29.1%)	66.3% (62.2%)	9.0% (8.7%)	0% (0%)	 ▲0.3
質問 2	日の出小は、子ども達がよりよく学ぶために、タブレットなどのICT機器を活用した授業に取り組んでいる。	51.1% (48.7%)	44.9% (44.8%)	3.9% (2.2%)	0% (4.3%)	 2.6
質問 3	日の出小は、子ども達が良好な人間関係を築き、安心して学校生活を送ることができるよう努めている。	27.0% (30.9%)	64.0% (58.3%)	1.1% (0.9%)	7.9% (10.0%)	 1.9
質問 4	日の出小は、様々な学年や先生方が関わりながら、教育活動を行っている。	39.3% (37.4%)	53.9% (55.2%)	0.6% (0.4%)	6.2% (7.0%)	 0.6
質問 5	日の出小は、子ども・保護者・地域の願いや信頼にこたえる学校づくりをするため、連携に努めている。	33.1% (30.0%)	56.2% (57.4%)	1.7% (1.7%)	9.0% (10.9%)	 1.9
質問 6	日の出小は、学校だより、学級だより、PTAブログ、一斉同報メール等を活用して学校の様子を発信している。	51.1% (52.6%)	47.2% (44.3%)	0.6% (0.4%)	1.1% (2.6%)	 1.3

【教職員アンケート】 下段は前期の数値

↑は前期と比較し上昇、↓は下降

	質問項目	十分 あてはまる	ほぼ あてはまる	あまり あてはまらない	ほとんど あてはまらない	
【日常授業の改善】						
質問 1	あなたは、知識・技能、思考力・判断力・表現力、 学びに向かう力の育成に努めていますか。	11.1% 4.8%	88.9% 85.7%	0% 9.5%	0% 0%	↑ 9.5
質問 2	あなたは「子どもの声で創る授業」の日常化に努め ていますか。	5.6% 4.8%	94.4% 76.2%	0% 19.0%	0% 0%	↑ 19.0
質問 3	あなたは、校内研修、小中一貫研修、個人研修、研 究所など外部機関での研修などを通して、授業力の 向上を図っていますか。	11.1% 14.3%	77.8% 71.4%	11.1% 14.3%	0% 0%	↑ 3.2
質問 4	あなたは、ICT機器の有効的な活用による授業改善に 努めていますか。	22.2% 9.5%	55.6% 61.9%	22.2% 28.6%	0% 0%	↑ 6.4
【受容と調和の集団づくり】						
質問 5	あなたは、ピア・サポートの実践とその考え方を活 かした授業や学級経営に努めていますか。	27.8% 9.5%	72.2% 81.0%	0% 9.5%	0% 0%	↑ 9.5
質問 6	あなたは、総合的な学習の時間や特別活動など、異 学年交流の推進に努めていますか。	16.7% 9.5%	50.0% 76.2%	33.3% 14.3%	0% 0%	↓ 19.0
質問 7	あなたは、hyper-QUやいじめアンケートの分析など に基づく改善策の確実な実施に努めていますか。	11.1% 14.3%	88.9% 76.2%	0% 9.5%	0% 0%	↑ 9.5
質問 8	あなたは、いつでも、だれでもすべての子どもたち に関わることでできるよう組織的な生徒指導体制の 構築に努めていますか。	5.6% 9.5%	83.3% 76.2%	11.1% 14.3%	0% 0%	↑ 3.2
【信頼され「社会とつながる学校」づくり】						
質問 9	あなたは、明成中学校を中心とした幼、中、高との 連携に努めていますか。	5.6% 4.8%	72.2% 71.4%	22.2% 23.8%	0% 0%	↑ 1.6
質問10	日の出小は、良いイメージを日の出地区全体に広げ るため、学校だよりや学級だより、ブログ、一斉同 報メール等を活用した発信力の強化に努めています か。	33.3% 28.6%	66.7% 52.4%	0% 19.0%	0% 0%	↑ 19.0
【教育の質を上げるために、実効性のある「働き方改革」の推進】						
質問11	あなたは、会議の時間短縮、業務の見直し等、実効 性のある働き方改革の推進に努めていると思いま すか。	11.1% 9.5%	44.4% 42.9%	44.4% 47.6%	0% 0%	↑ 3.2

日の出小学校では、標準学力検査や全国学力・学習状況調査、Q Uアンケートや保護者アンケート、児童アンケートなどの客観的な数値を根拠とする評価活動を実施し、P D C Aサイクル（計画→実行→評価→改善）による教育活動の改善に取り組んでいます。

【児童アンケート結果・分析】

- 児童アンケートでは、全ての項目で肯定的な回答が80%を越えており、おおむね高評価と言えます。
- 質問2「あなたは、よりよく学ぶためにタブレットを役立てていますか。」
質問3「あなたは、友達と認め合って、安心して学校生活を送っていますか。」の項目で、「十分あてはまる」の回答が80%を越え、特に高い評価となっています。本校で取り組んできた、「学びのツールとしてのICTの効果的活用」及び「ピア・サポート」の取組の成果と考えられます。
- 質問5「あなたは、学校生活についてお家の人と話をしていますか？」の項目は否定的な回答が約20%ありました。質問の趣旨として、「情報の伝達の程度を知るため」であり、より正確な評価が得られるよう、文言の工夫をしていく必要があると考えます。

【保護者アンケート結果・分析】

- 保護者アンケートでは、全ての項目で肯定的な回答が80%を越えており、おおむね高評価と言えます。
- 質問3「安心して送ることのできる学校生活」、質問5「信頼にこたえる学校づくり」の項目において否定的な回答が多い傾向（10%を超えている）にあります。ピア・サポートを土台とした教育活動の充実、他校種や地域との連携をより密にしていくことで、改善を目指していきます。

【教職員アンケート結果・分析】

○ 質問2「子どもの声で創る授業」、質問5「ピア・サポートの実践」については、昨年度の関連項目と比較し、改善の傾向が見られます。日々の実践の成果であり、さらなる充実へ向けて取組を継続していきたいと考えます。

○ 質問4「ＩＣＴ機器の有効的な活用」、質問6「異学年交流の推進」質問9「幼、中、高との連携」、質問11「働き方改革の推進」については、肯定的な回答の割合が80％に満たないことから、教職員の改善への意識が高いことが考えられます。改善へ向けた具体的な取組を推進していきたいと考えます。

- ・「ＩＣＴ機器の有効的な活用」の充実

校内の研修においても、「学びのツールとしてのＩＣＴの効果的活用」について深めているところです。情報視聴覚係を中心とした実技研修や活用の交流等の機会の増加を目指すとともに、日常的に情報交流を推進していきたいと考えます。

- ・「異学年交流」の充実

今年度からふれあい集会や縦割り清掃をはじめとした異学年交流が再開されました。児童の自治的な活動の推進や様々な児童のリーダー性を育むためにも、異学年交流の充実が求められます。今後、教育課程を整備していく中で、異学年交流の位置付けが必要だと考えます。

- ・「幼、中、高との連携」

義務教育9年間の子どもの成長を確かなものとするために明成中学校と一体となり、教育活動を展開してきました。今後も連携係を中心に児童生徒・教職員の交流活動の促進、統一感のある授業改善、一貫した教育課程の編成等を意識していくことが必要だと考えます。

- ・「働き方改革の推進」

教育の質の向上を図るために、業務の改善を進めていくことが大切です。校務支援システムを活用したり、業務の優先順位を付けたりすることで時間外勤務時間の減少に取り組み、ふり返し会などを活用することで教職員全体で働き方改革を推進することが必要だと考えます。